

あしがきのあしがき ~著者から人事担当者へのメッセージ

『あなたの職場は、なぜ問題ばかり起きるのか?』



2016年2月刊
発行：日本経済新聞出版社
販売：1,728円

主な内容

- 個人の言動と対応不足が問題を引き起こす
- 管理職の言動と組織マネジメントの悪さが問題を引き起こす
- アサーティブ・コミュニケーションで個人と組織の問題解決の基礎をつくる
- 問題を特定して、解決策に結びつける
- 解決行動を定着・進化・発展・継続する
- 自分の考えを相手に100%伝えて、受け入れてもらう
- 成功から学ぶ問題予防



株式会社BCL
代表取締役 別所 栄吾

いう声を聞いていました。本書では、研修で扱った事例を中心に内容を構成しました。

取り返しがつかなくなる前に

ご存知の通り、本や雑誌だけでなく新聞も読まない人、テレビも見ないが増えていきます。今回、書籍としてまとめたのは、インターネットよりも網羅的な情報として提示できること、また、紙媒体のほうが学習内容をより記憶しやすいと考えたからです。

特に、インターネットでは検索してヒットした情報しか、読まないことが多いです。その点、網羅性の高い書籍ならば、読者は知らなかったことに偶然触れたり、気づき、考える時間が増えたりすると私は考えています。知りたいことをつまみ食いするような検索では、刹那的な問題解決に終始し、抜本的な解決策まで到達しないこともあるでしょう。

取り返しのつかない状態になる前に、本書を読むことで、普遍的な職場の問題について、上司と部下の両方の視点からとらえ直し、解決行動へとつなげてほしいのです。

研修の必要性和職場の問題解決

メーカーなど製造現場を持っている会社は、「なぜなぜ分析」など小集団活動で問題解決に日常的に取り組んでいるところも多いでしょう。しかし、サービス業などでは小集団活動という言葉すら知らない人も多くいます。ホワイトカラーこそ、問題解決のスキルやノウハウを学ぶことが必要です。

近年は、中堅向け研修や能力開発系などいわゆるスキル研修の縮小がみられます。そして、研修を減らしても、業務に支障がないと誤解している組織も増えてしまいました。

現実とは違います。会議等でどのように話すか、議論するかという話し合いの基本ルール等が欠落しています。言い換えると、共通のモノサシや説明スキルがないところでいくら会議をしても、なかな

か話し合いが深まらなかったり、問題解決策が出なかったりしています。

私が本書を著した理由

長年放置してきた職場の問題に向き合ってほしいと考えて、私は本書をまとめました。製造現場の問題解決についての書籍は多数あります。しかし、職場の人間関係や仕事の取り組み姿勢という切り口で書かれた書籍はあまり多くないと思っていました。特に、上司に起因する問題と部下に起因する問題の両方について、1冊にまとめた本は見かけたことがありませんでした。

私は28年間、講師として、新人から役員まで様々な階層の人へ研修を実施してきました。そこでは「今の話をぜひ、部下にも聞かせてほしい」や、逆に「今の話をぜひ、上司にも伝えてほしい」と